

事業評価シート（区政運営編）

基本目標		個別目標	2	基本施策	
計画事業	110	三栄町生涯学習館の集会室機能の統合			

目的	集会室機能を地域のコミュニティ施設に統合する検討をします。そのうえで、他に集会室機能を統合する場及び生涯学習を展開する場を確保できる場合には、廃止します。
手段	四谷地域におけるコミュニティ場としての方針について、新宿区施設活用検討会及び分科会で調査検討を行う。

事業の主な実施内容

平成20年度	
施設活用検討会及び旧四谷第三小学校の活用検討分科会での検討	

事業の指標

指標名	定義	目標水準
1 施設活用状況	集会室機能の統合及び生涯学習を展開する場の確保による施設の廃止の検討	22年度以降方針実施
2		
3		
4		

達成水準

	単位	20年度 (現状)	21年度 (目標)	22年度 (目標)	23年度 (目標)	20～23年度	備考
指標1	目標値1		1				21年度に方針決定し、22年度以降に方針を実施していく
	実績1 = /	%					
指標2	目標値1						
	実績1 = /	%					
指標3	目標値1						
	実績1 = /	%					
指標4	目標値1						
	実績1 = /	%					

コスト

トータルコスト	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	20～23年度	備考
事業費	千円						
人件費							
事務費							
減価償却費							
総計							
財源内訳							
一般財源	千円						
特定財源							
一般財源投入率	%						
職員							
常勤職員	人						
非常勤職員	人						

評価

視点	評価区分	評価の理由
サービスの負担と担い手	適切である 改善が必要である	三栄町生涯学習館の集会室機能統合などの検討は、地域の声を踏まえて行政が担うべきものであり、担い手として適切です。
適切な目標設定	適切である 改善が必要である	四谷地区の再開発事業を踏まえて、三栄町生涯学習館の集会室機能統合の検討を行い実施していくことは、四谷地区の協働と自治の学びを進める場としての行政需要に応じていくうえで適切です。
効果的・効率的な視点	効果的・効率的である 改善が必要である	四谷駅前の再開発事業と連携し、地域のコミュニティ施設方針を、地域の声を踏まえて施設活用検討会及び分科会で検討することは効果的です。
目的(目標水準)の達成度	達成度が高い 達成度が低い	方針案を平成20年度に決定する予定でしたが、国有地処分計画の変更に伴い、再開発計画及び関連事業の方針決定が1年遅れました。
総合評価	計画以上に進んでいる 計画どおりに進んでいる 計画どおりに進んでいない	平成19年度中に財務省が国有地の処分変更を打ち出したため、再開発計画(まちづくり計画)が一時滞りました。そのため、新宿区もその計画スケジュールに対応して、再開発計画及び関連事業の検討を行ったため計画(方針案決定)が1年遅れとなりました。

進捗状況・今後の取組み方針

20年度状況	状況認識(課題)	第一次実行計画に、施設のあり方検討を位置づけている三栄町生涯学習館の集会室機能の統合について、方針をまとめていく必要があります。			
	改革方針	施設活用検討会及び分科会で旧四谷第三小学校の跡地活用の動向を見定めつつ、関連する第一次実行計画である「生涯学習館への機能転換方針」と合わせて検討します。			
21年度評価	改革方針への対応状況	施設活用検討会及び分科会で行政需要の調査を行ったうえで、四谷地区における協働と自治の学びを進める場について、旧四谷第三小学校の跡地活用を含めた検討を進めました。			
	課題	旧四谷第三小学校の跡地活用方針案決定が1年遅れたため、引き続きその計画と合わせて、施設利用率が、76%と高く、特にレクホール92%、視聴覚室89%にも昇る行政需要を基に三栄町生涯学習館の集会室機能の統合について検討を進めていく必要があります。			
	方向性	現状のまま継続 事業統合	手段改善 休廃止	事業縮小 その他(制度改正等)	事業拡大
	内容	旧四谷第三小学校跡地活用方針との連携だけでなく、四谷地区における協働と自治の学びを進める場としての行政需要を検討し、平成21年度にその方針を決定します。そのため、再開発都市計画などの動向を見極めながら十分な検討を行います。			